

熊取公明党 わたなべ豊子議会報告



※6月定例議会でわたなべ豊子は3項目一般質問しました！



お気軽にご相談ください
453-5119

ない妊娠・出産・育児支援について

問 妊娠期相談支援体制として、産前サポート、産後サポート、産後ケアについてどの様に取り組んでいるか？

答 産前、産後とも保健師による相談体制をとっている。助産師による「こんにちは赤ちゃん訪問」も実施。産後ケアは、国の交付金事業について調査研究を進めていきたい。

問 国の支援策「妊娠・出産包括支援事業」の産後ケアや子育て世代包括支援センター、ネウボラ等について、どう取り組むのか？

答 近隣の3市3町、広域での取り組みを研究していきたい。

(※ネウボラとは0歳から6歳まで切れ目のないサポートをする拠点のこと)



＜補足説明＞

- ・第1子出産時の母親の平均年齢は30.6歳。
 - ・84%の世帯が核家族化。
 - ・産院不足のため出産後の入院期間は4～5日。十分な育児指導が受けられていない。新米ママは、授乳、沐浴についても不安でいっぱい。
 - ・里帰り出産もできない人が多い。
 - ・産後2週間のメンタルリスクが高い。
- ※だから、切れ目のない支援が必要！

2. 不妊・不育支援について

問 子どもを望むご夫婦の経済的支援として、不妊・不育治療費の一部助成を実施してはどうか？

答 近隣市町の動向を踏まえ、助成について調査研究を進めていく。

問 近隣の町で助成していないのは、熊取町だけ。

熊取町の出生率は6.7、府は8.3、全国平均は8.2（平成25年人口動態統計）。府や全国平均より低い。前向きに検討すべきではないか？！

答 不妊治療費の負担は非常に大きいと認識している。どのレベルで、経済的負担の軽減ができるかを研究していきたい。



＜補足説明＞

- 不妊治療の一部助成を行っているのは大阪府、政令市、中核市、泉大津市、泉佐野市、忠岡町、田尻町、岬町。
- 不育治療の一部助成を行っている市町村は、茨木市、高槻市、泉佐野市、田尻町、岬町。

3. 認知症対策について

問1 認知症は脳の病気。早期発見、早期治療を啓発する為にどのような取り組みを考えているのか？

答 「認知症ケアパス」を作成し、チェックリストを盛り込み、医療機関等につなげていきたい。

問 携帯やパソコンで認知症かどうかを簡単に判定できる「認知症簡易チェックシステム」の「これって認知症？」「わたしも認知症？」を町ホームページに導入してはどうか？

答 医療機関等につなげられるように「認知症ケアパス」での対応を考えている。

問2 地域で支える「認知症カフェ」の取り組みについては？

答 今年度中に、試行的に実施したい。

音読・計算等の知的活動の様子→

問3 「住民主体の通いの場」を中心とした介護予防事業とは？

答 認知症予防という観点から、運動習慣や音読・計算等の知的活動習慣も盛り込んだ取り組みとして、内容や実施方法等を検討していきたい。



＜認知症予防10か条＞

- ① 塩分と動物性脂肪を控えたバランスの良い食事を。
- ② 適度に運動を行い足腰をしようぶに。
- ③ 深酒とタバコはやめて規則正しい生活を。
- ④ 生活習慣病の予防・早期発見・治療を。
- ⑤ 転倒に気を付けよう。
- ⑥ 興味と好奇心をもつように。
- ⑦ 考えをまとめて表現する習慣を。
- ⑧ こまやかな気配りをした良い付き合いを。
- ⑨ いつも若々しくおしゃれ心を忘れずに。
- ⑩ くよくよしないで明るい気分で生活を。

